

2013年度第1四半期（2013年1月～3月）連結決算短信

会 社 名	アフラック・インコーポレーテッド (Aflac Incorporated)
株式銘柄コード	8686
本店所在地	アメリカ合衆国ジョージア州コロンバス ウイントン・ロード1932
所 属 部	東証市場第一部
決 算 期	本決算： 年1回（12月） 中間決算： 四半期毎
問 合 せ 先	長島・大野・常松法律事務所（Tel：03-3288-7000） 弁護士 門 田 正 行

1. 本国における決算発表日： 2013年4月24日（水曜日）

2. 業 績

	第1四半期（1月～3月の3ヶ月間）			累計額（1月～3月の3ヶ月間）		
	当期	前年同期	増減率	当期	前年同期	増減率
収益合計	百万ドル 6,208	百万ドル 6,240	% -0.5	百万ドル 6,208	百万ドル 6,240	% -0.5
税引前当期純利益	百万ドル 1,361	百万ドル 1,202	% 13.3	百万ドル 1,361	百万ドル 1,202	% 13.3
当期純利益	百万ドル 892	百万ドル 785	% 13.7	百万ドル 892	百万ドル 785	% 13.7
基本1株当たり 当期純利益	ドル 1.91	ドル 1.68	% 13.7	ドル 1.91	ドル 1.68	% 13.7
希薄化後1株当たり 当期純利益	ドル 1.90	ドル 1.68	% 13.1	ドル 1.90	ドル 1.68	% 13.1

配当金の推移		
	当年度（2013年度）	前年度（2012年度）
第1四半期	0.35 ドル	0.33 ドル
第2四半期		0.33
第3四半期		0.33
第4四半期		0.35
合計	0.35 ドル	1.34 ドル

(注) 原則として各四半期に決定された配当金である。

3. 概況・特記事項・その他

特になし



会社名:アフラックインコーポレーテッド
株式銘コード:8686
問い合わせ先:アフラック日本社 IR サポート部
村上 一郎 (Tel:03-3344-0481)

Aflac Incorporated は 2013 年度第 1 四半期の業績を発表

2013 年度第 2 四半期現金配当を宣言

2013 年度の 1 株当たり事業利益目標を確認

ジョージア州、コロンバス - 2013 年 4 月 24 日

Aflac Incorporated (以下、「当社」)は本日、2013 年度第 1 四半期の業績を以下のとおり発表しました。

当四半期の収益合計は、円安ドル高を反映して、前年同期の 62 億ドルからほぼ変わりませんでした。当期純利益は、前年同期の 7 億 8,500 万ドル(希薄化後1株当たり 1.68 ドル)から 8 億 9,200 万ドル(同 1.90 ドル)の増益となりました。

前年同期の当期純利益には 2,900 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.06 ドル)の税引後資産運用実現損(実現益とのネット)が含まれていたのに対し、当四半期の当期純利益には、1 億 200 万ドル(同 0.21 ドル)の税引後資産運用実現益(実現損とのネット)が含まれていました。当四半期の減損による税引後資産運用実現損は 3,500 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.08 ドル)でした。当四半期の有価証券取引による税引後資産運用実現益は 7,700 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.16 ドル)でした。当四半期の日本社の特定のドル建て投資に関連するヘッジ費用は、税引後で 300 万

ドル(希薄化後 1 株当たり 0.01 ドル)でした。当四半期のその他のデリバティブ及びヘッジ活動による税引後資産運用実現益(ネット)は 6,300 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.14 ドル)でした。

当社は、当社事業に収益をもたらす諸要素について理解するために、事業利益(米国会計基準 GAAP 外の指標)の分析が極めて重要であると考えています。事業利益とは、有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じた資産運用実現損益ならびにその他の非経常的損益を除外した、当社事業から得られる利益です。当社のデリバティブ活動には、主として通貨スワップ、金利スワップ、連結変動持分事業体におけるクレジット・デフォルト・スワップ、当社が発行する優先社債及び劣後社債に関連する通貨スワップ、及び当社が投資する米ドル建て有価証券に係る為替変動リスクのヘッジに用いられる為替先物取引が含まれます。有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じる資産運用実現損益ならびに非経常的損益は、全般的な経済情勢など外部環境が大きく影響すること、あるいは当社の保険事業に直接関係しない数少ない取引に関連するものであることから、当社保険事業の基盤や傾向を必ずしも正確に反映していないため、当社では、保険事業の財務業績を評価するにあたって事業利益を用いています。

さらに、アフラックの事業全体に占める日本社の割合が非常に大きいため、日本の機能通貨である円から米ドルへの換算が事業利益に与える影響を理解することも同様に重要であると考えています。当社は、日本社の損益計算書の作成にあたっては、当該期間の平均円/ドル為替レートを、また貸借対照表の作成にあたっては、期末の円/ドル為替レートを、それぞれ使用していますが、日本社のドル建て投資プログラムを含む限られた取引を除いて、実際に円貨をドル貨に換金することはありません。したがって、当社は、外貨の換算は財務諸表作成の目的に利用するものであって、当社や株主の皆様に対して実際に経済的な意味を持つものではないと考えています。また、為替変動によっては当社事業の成長率が歪められてしまうため、当社は、財務諸表を使って当社事業を評価する場合、為替変動の影響を除外すべきであると考えています。本リリースの最後に為替変動の影響を含めた場合とそれを除外した場合の主な業績数値の比較表を掲載していますので、ご参照ください。

当四半期の事業利益は、前年同期の 8 億 1,400 万ドルから、7 億 9,000 万ドルとなりました。希薄化後 1 株当たり事業利益は前年同期の 1.74 ドルから 2.9% 減少し、1.69 ドルとなりました。為替レートが円安ドル高に推移したことで、当四半期の希薄化後 1 株当たり事業利益は 0.15 ドル減少

しました。円安の影響を除いた1株当たり事業利益は5.7%の増加となりました。

運用資産及び現金・預金合計は、2012年12月31日現在が1,182億ドルであったのに対して、2013年3月31日現在では1,074億ドルとなりました。運用資産及び現金・預金合計は、円安及び2012年第3四半期に開始した6ヶ月間の有価証券貸付プログラムの終了によるマイナスの影響を受けました。

当四半期、当社は約1億5,000万ドル相当(およそ3百万株)の自己株式を取得しました。2013年3月31日現在、当社の自己株式取得承認枠は、1,940万株となっています。

当四半期、当社は連結の投資ポートフォリオにおける私募証券の評価手法に変更を加えました。この新しい評価手法の採用と、市況の変化によって、2013年3月31日現在の株主持分は2012年12月31日現在に比べ5億8,200万ドル減少しました。株主持分は、2012年12月31日現在が160億ドル(1株当たり34.16ドル)であったのに対し、2013年3月31日現在では155億ドル(1株当たり33.34ドル)でした。株主持分に含まれている保有有価証券及びデリバティブに係る未実現益(ネット)は、2012年12月31日現在が26億ドルであったのに対し、2013年3月31日現在では20億ドルでした。当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年換算で22.6%でした。事業ベース(当期純利益に含まれる資産運用実現損益(ネット)合計、株主持分に含まれる運用資産及びデリバティブの未実現損益を除く)で見ると、当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年換算で23.4%でした。

日本社

円ベースで見ると、当四半期の日本社の収益合計は前年同期に比べて9.7%増加しました。円ベースの保険料収入は、9.8%増加しました。投資収益(ネット)は7.3%増加しました。当四半期の日本社の投資収益の約40%がドル建てであったことから、日本社の円ベースでの投資収益の伸びは、円安ドル高の影響によって押し上げられました。当四半期の税引前事業利益率は、前年同期の21.3%から21.5%とわずかに改善しました。円ベースの税引前事業利益は10.7%増加しました。

円／ドル為替レートが前年同期に対して円安ドル高であったため、日本社の当四半期のドルベースの実績は、押し下げられました。期中平均円／ドル為替レートは、前年同期が 1 ドル＝79.59 円であったのに対し、当四半期は 14.0%円安ドル高の 1ドル＝92.59 円でした。

期中平均の円安ドル高を反映して、日本社の当四半期のドルベースの保険料収入は 5.9%減少し、39 億ドルとなりました。当四半期の投資収益(ネット)は 7.6%減少し、6 億 7,400 万ドルとなりました。収益合計は 5.9%減少し、46 億ドルに、税引前事業利益は 4.8%減少し、9 億 8,900 万ドルとなりました。

当四半期の新契約年換算保険料は 2.6%増の 538 億円(5 億 7,800 万ドル)となりました。がん保険と医療保険を合わせた第三分野商品の販売は、7.1%減少しました。当四半期の金融機関窓販は、13.2%減少しました。「WAYS」の販売は対前年同期比 1.9%減となりましたが、これを含む普通生命保険の販売は、当四半期 7.3%増加しました。この実績は予想を上回りましたが、これは主として、生活者が 2013 年 4 月 2 日に実施された第一分野商品の保険料率の引き上げ前に保険の購入を希望したことによります。

米国社

当四半期の米国社の収益合計は 3.9%増の 14 億ドルとなりました。保険料収入は 4.0%増加し、13 億ドルに、投資収益(ネット)は 3.4%増加して 1 億 5,700 万ドルとなりました。税引前事業利益率は、前年同期の 19.6%からわずかに低下し、19.5%となりました。税引前事業利益は 3.6%増の 2 億 8,100 万ドルとなりました。

当四半期の米国社の新契約年換算保険料は、5.2%減少し、3 億 3,200 万ドルとなりました。また、当四半期の継続率は 74.7%で前年同期と変わりませんでした。

現金配当

取締役会は、2013 年度第 2 四半期支払いの現金配当を宣言しました。2013 年度第 2 四半期の現金配当は 1 株当たり 0.35 ドルで、2013 年 5 月 22 日の市場終了時点の登録株主に対し、2013

年6月3日に支払われます。

今後の見通し

当四半期の業績について、当社会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスは次のように述べています。「大幅な円安の影響で、基本的な好業績が隠されている部分はありますが、私たちは、当社の2013年度第1四半期の全体的な業績に満足しています。日本社は当四半期、予想を上回る堅調な財務業績を挙げました。日本社の全体的な販売は、予定されていた保険料率引き上げに先立った商品の購入により増加しましたが、一方、第三分野商品の販売は予想通り減少しました。しかし、当社は、当社の第三分野商品に対する消費者の反響は2013年後半に高まるものと確信しています。したがって、引き続き日本社の第三分野商品の販売は対前年比横ばいから5%増となると予想しています。」

「当四半期の米国社の販売は減少しましたが、販売の比重は下半期に向かって大きくなるものと確信しています。したがって、年間の販売が、対前年比横ばいから5%増という当社の目標に変更はありません。米国社の事業基盤は強力で、米国社は、あらゆる規模の企業の従業員に接点を拡大することに注力しています。当社は引き続き、当社の強力なブランドと、変化を続ける医療環境に対応した商品群を活用する機会を追求して行きます。」

「特に日本において顕著な低い投資利回りは、引き続き当社の極めて大きな課題となっています。このような環境の下、当社は引き続き、キャッシュ・フローの大きな部分を米国の社債に投資しています。この戦略によって、投資利回りの向上を目的としつつ、より大きな流動性がもたらされ、当社のポートフォリオの柔軟性が高まり、大きなキャッシュ・フローを日本国債以外の多様な対象に投資する機会を増やすことができます。10年国債の利回りが過去最低を記録したことを踏まえ、当社は資産配分について柔軟でありたいと考えています。また、日本の金利や円/ドル為替レートなど金融市場に影響を与える大きな変化に鑑み、当社の投資部門は、当社の日本国債への資産配分に係る選択肢を評価するために、日本の金融政策及び財政政策を慎重にモニタリングして行きます。」

「当社の強固な規制上の自己資本比率は、ご契約者と社債保有者の皆様のために財務力を

維持するという当社のコミットメントの表れです。過去数年にわたってお伝えしているとおり、高いRBC比率及びソルベンシー・マージン比率を維持することは当社にとっての優先事項です。当四半期の法定会計基準に基づく財務諸表はまだ完成していませんが、2013年3月31日現在の当社のRBC比率は、2012年末の630%を上回るものと予想しています。また、日本社のソルベンシー・マージン比率も、669%であった2012年末の水準を超えると確信しています。」

「前四半期、当社が本年度、4億ドルから6億ドル相当の自己株式を取得する意向であることをお伝えしておりますが、当四半期は、およそ1億5,000万ドル相当の自己株式を取得しました。当社の高い自己資本比率及び親会社が持つ流動性から、当社はこの範囲の金額での自己株式取得についてより確信を強めています。」

「当社事業に内在する強さを反映し、本年度もアフラックにとって良い年になると私たちは期待しています。また、私はあらためて、2013年の当社の目標が変わっていないことを申しあげたいと思います。為替変動の影響を除いた希薄化後1株当たり事業利益の成長率を対前年比4%から7%、つまり為替変動の影響を除いた希薄化後1株当たり事業利益をおよそ6.86ドルから7.06ドルの間にするということです。当社が利益目標を達成し、2013年通年の平均円／ドル為替レートが1ドル＝95円から100円の間で推移したと仮定した場合、年間の希薄化後1株当たり事業利益は5.99ドルから6.37ドルの間になると予想しています。また、同じ仮定を用いた場合、2013年度第2四半期の希薄化後1株当たり事業利益は、1.41ドルから1.56ドルの間になると予想しています。」

アフラックについて

当社は、ご契約者が病気または怪我をした時に現金を迅速にお支払いします。およそ60年にわたって、当社の商品は、ご契約者が経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。当社は米国においては更新保障付保険販売におけるNo.1の会社で、日本においては個人保険の保有契約件数で第1位の生命保険会社です。世界で5,000万人以上の方が当社の個人及び団体保険に加入しています。『Ethisphere』誌は7年連続で当社を「世界で最も倫理観の高い企業」に選出しています。また、2013年、『フォーチュン』誌は当社を15年連続で「全米で最も働きがいのある企業100社」に選出するとともに、12回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」にも選出、当社を生命保険及び医療保険分野で第1位にランクしました。Aflac Incorporatedはフ

フォーチュン 500 社に入っており、ティッカーシンボル AFL としてニューヨーク証券取引所に上場しています。当社に関するさらに詳しい情報は aflac.com 又は espanol.aflac.com をご覧ください。

当四半期の業績数値の補足資料 (FAB Supplement)、金融セクターにおける全運用資産の一覧表、永久証券及びユーロ圏周辺国向けの保有有価証券におけるソブリン債及び金融機関債への投資の一覧表は、aflac.com 「Investors」ページから入手可能です。

当社は当四半期業績報告の電話会議の様様を 2013 年 4 月 25 日木曜日午前 9 時 00 分 (米国東部夏時間) に aflac.com 「Investors」ページ上で公開します。

Aflac Incorporated およびその子会社連結損益計算書(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数および1株当たりの数字を除く—無監査)

3月31日に終了した3ヶ月間:

	2013年	2012年	増減率
収益合計	6,208	6,240	-0.5%
保険金給付金	3,521	3,646	-3.4%
新契約費及び事業費合計	1,326	1,392	-4.8%
税引前当期純利益	1,361	1,202	13.3%
法人税等	469	417	
当期純利益	892	785	13.7%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.91	1.68	13.7%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.90	1.68	13.1%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	466,462	465,887	0.1%
希薄化後	469,124	468,533	0.1%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.35	0.33	6.1%

Aflac Incorporated およびその子会社連結貸借対照表(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数を除く—無監査)

3月31日現在:

	2013年	2012年	増減率
資産:			
運用資産および現金・預金	107,400	103,104	4.2%
繰延新契約費	9,210	9,542	-3.5%
その他の資産	3,928	2,906	35.2%
資産合計	120,538	115,552	4.3%
負債および株主持分:			
保険契約準備金	92,951	92,697	0.3%
社債等	4,283	3,964	8.1%
その他の負債	7,769	5,248	48.0%
株主持分	15,535	13,643	13.9%
負債および株主持分合計	120,538	115,552	4.3%
期末発行済普通株式数(単位:千株)	466,025	467,463	-0.3%

事業利益と当期純利益の調整

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

3月31日に終了した3ヶ月間:

	2013年	2012年	増減率
事業利益	790	814	-2.9%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	42	-81	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-3	-	
デリバティブおよびヘッジ活動の影響	63	52	
当期純利益	892	785	13.7%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	1.69	1.74	-2.9%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	0.08	-0.17	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-0.01	-	
デリバティブおよびヘッジ活動の影響	0.14	0.11	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.90	1.68	13.1%

為替変動の業績への影響¹
(主要項目の前年同期比増減率—無監査)

2013年3月31日に終了した3ヶ月間:

	<u>為替変動の 影響を含む</u>	<u>為替変動の 影響を除く²</u>
保険料収入	-3.6%	8.1%
投資収益(ネット)	-5.6%	1.7%
保険金給付金および事業費合計	-3.8%	7.6%
事業利益	-2.9%	5.8%
希薄化後1株当たり事業利益	-2.9%	5.7%

¹数値は本リリースにおいて定義した事業利益ベースで表示している。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートを用いて算出した。

2013年1株当たり事業利益予想

<u>円/ドル平均為替レート</u>	<u>1株当たり年間事業利益</u>	<u>対2012年増加率</u>	<u>為替の影響</u>
79.81*	\$6.86 - \$7.06	3.9% - 7.0%	\$ -
85	\$6.60 - \$6.80	0.0% - 3.0%	\$ -0.26
90	\$6.37 - \$6.57	-3.5% - -0.5%	\$ -0.49
95	\$6.17 - \$6.37	-6.5% - -3.5%	\$ -0.69
100	\$5.99 - \$6.19	-9.2% - -6.2%	\$ -0.87

*実際の2012年の年間加重平均為替レート

予測情報について

1995年の私的証券訴訟改革法は、企業に対して、いわゆる「安全港」の規定を設けています。規定によれば、その記述が将来予測に関する記述（forward-looking statement）として特定され、将来予測に関する記述に含まれる内容と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した有意義な警告を伴うならば、自社の見通しに関する情報を積極的に提供するように奨励しています。当社は、この規定を活用したいと考えています。本書には、将来の見通しと大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した警告を記載しています。こうした将来の見通しは、本書の中、あるいはアナリストと当社役員との議論、米国証券取引委員会（SEC）に提出された文書の記述に含まれています。

将来予測に関する記述は、過去の情報に基づくものではなく、将来の事業、戦略、財務業績及びその他の進展事項に関するものです。更に、将来予測に関する情報は、さまざまな仮定や、リスク、不確定要素から影響を受けます。特に、「予想する」「予測する」「確信している」「目標」「目的」「可能性がある」「すべきである」「推定する」「意図する」「見積もる」「するつもりである」「仮定する」「潜在的」「対象」、あるいはその他の類似した言葉を含む記述、また将来の結果についての特定の予測は一般に将来予測に関する記述です。当社は、将来予測に関する記述について、最新情報を提供する義務を負いません。

当社が時々言及している事項のほかに、将来予測に関する記述と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある事項は以下のとおりです。

- ・世界資本市場及び経済の困難な状況
- ・金融市場の安定化を目指す政府の行動
- ・当社の投資先の債務不履行及び格付けの引き下げ
- ・金融機関の減損
- ・当社保有の永久証券に関連する信用及びその他のリスク
- ・運用資産の評価に適用される判断
- ・運用資産に係る減損金額の決定における重要な評価判断
- ・当社の条件に合致する円建て有価証券の限られた入手可能性
- ・特定の単一の発行体又はセクターに対する運用資産の集中
- ・日本に対する事業の集中
- ・デリバティブ活動の増加
- ・保険業界における継続的な変化
- ・重要な金融及び資本市場リスクに対するエクスポージャー
- ・為替相場の変動
- ・運用利回りの大幅な変動
- ・保険料率の設定や責任準備金の算定に用いる仮定及び実績の乖離

- ・ 子会社が当社に配当金を支払う能力
- ・ 法律及び政府当局による規制の変化
- ・ 優秀な募集人及び社員を引きつけ、維持する能力
- ・ 当社の財務力及び発行体格付けの引き下げ
- ・ 情報システムの開発・改善を継続する能力
- ・ 電気通信、情報技術及びその他の業務システムにおける障害、あるいはそのようなシステムに収録されているセンシティブなデータに関する安全性、機密性又はプライバシーの維持の失敗
- ・ 米国及び（又は）日本の会計基準の変更
- ・ 患者のプライバシー及び情報セキュリティに対する制約の不順守
- ・ 訴訟の内容及び結果
- ・ 主要な経営陣メンバーの後継者を効果的に選出する能力
- ・ 伝染病、パンデミック、竜巻、ハリケーン、地震、津波、テロ行為を含む大惨事及びそれに付随して起こる被害
- ・ 内部統制やコーポレート・ガバナンスのポリシー及び手続きの失敗



FOR IMMEDIATE RELEASE

AFLAC INCORPORATED ANNOUNCES FIRST QUARTER RESULTS,
DECLARES SECOND QUARTER CASH DIVIDEND,
AFFIRMS 2013 OPERATING EPS TARGET

COLUMBUS, Georgia – April 24, 2013 – Aflac Incorporated today reported its first quarter results.

Reflecting the weaker yen/dollar exchange rate, revenues were relatively unchanged at \$6.2 billion during the first quarter of 2013, compared with a year ago. Net earnings were \$892 million, or \$1.90 per diluted share, compared with \$785 million, or \$1.68 per share, a year ago.

Net earnings in the first quarter of 2013 included after-tax realized investment gains, net of realized investment losses, of \$102 million, or \$.21 per diluted share, compared with net after-tax losses of \$29 million, or \$.06 per diluted share, a year ago. After-tax realized investment losses from impairments in the quarter were \$35 million, or \$.08 per diluted share. After-tax realized investment gains from securities transactions in the quarter were \$77 million, or \$.16 per diluted share. On an after-tax basis, hedging costs related to certain dollar investments of Aflac Japan were \$3 million in the quarter, or \$.01 per diluted share. Realized after-tax net investment gains from other derivative and hedging activities in the quarter were \$63 million, or \$.14 per diluted share.

Aflac believes that an analysis of operating earnings, a non-GAAP financial measure, is vitally important to an understanding of the company's underlying profitability drivers. Aflac defines operating earnings as the profits derived from operations before realized investment gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as nonrecurring items. Aflac's derivative activities primarily include: foreign currency, interest rate and credit default swaps in variable interest entities that are consolidated; foreign currency swaps associated with the company's senior and subordinated notes; and foreign currency forwards used in hedging foreign exchange risk on U.S. dollar-denominated securities. Management uses operating earnings to evaluate the financial performance of Aflac's insurance operations because realized gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as nonrecurring items, tend to be driven by general economic conditions and events or related to infrequent activities not directly associated with the company's insurance operations, and therefore may obscure the underlying fundamentals and trends in Aflac's insurance operations.

Furthermore, because a significant portion of Aflac's business is in Japan, where the functional currency is the yen, the company believes it is equally important to understand the impact on operating earnings from translating yen into dollars. Aflac Japan's yen-denominated income statement is translated from yen into dollars using an average exchange rate for the reporting period, and the balance sheet is translated using the exchange rate at the end of the period. However, except for a limited number of transactions, which includes the Aflac Japan dollar investment program, the company does not actually convert yen into dollars. As a result, Aflac views foreign currency as a financial reporting issue and not as an economic event for the company or its shareholders. Because changes in exchange rates distort the growth rates of operations, readers of Aflac's financial statements are also encouraged to evaluate financial performance excluding the impact of foreign currency translation. The chart toward the end of this release presents a comparison of selected income statement items with and without foreign currency changes to illustrate the effect of currency.

Operating earnings in the first quarter were \$790 million, compared with \$814 million in the first quarter of 2012. Operating earnings per diluted share decreased 2.9% to \$1.69 in the quarter, compared with \$1.74 a year ago. The weaker yen/dollar exchange rate decreased operating earnings per diluted share by

\$.15 for the first quarter. Excluding the impact from the weaker yen, operating earnings per share increased 5.7%.

Total investments and cash at the end of March 2013 were \$107.4 billion, compared with \$118.2 billion at December 31, 2012. Total investments and cash were negatively impacted by the weaker yen and the conclusion of a six-month securities lending program that began in the third quarter of 2012.

In the first quarter, Aflac repurchased approximately \$150 million, or about three million shares, of its common stock. At the end of March, the company had 19.4 million shares available for purchase under its share repurchase authorization.

During the first quarter, the company refined its methodology for valuing privately issued securities held in its consolidated investment portfolio. The adoption of this new valuation methodology, combined with changes in market conditions, reduced shareholders' equity at March 31, 2013, by \$582 million, compared with December 31, 2012. Shareholders' equity was \$15.5 billion, or \$33.34 per share, at March 31, 2013, compared with \$16.0 billion, or \$34.16 per share, at December 31, 2012. Shareholders' equity at the end of the first quarter included a net unrealized gain on investment securities and derivatives of \$2.0 billion, compared with a net unrealized gain of \$2.6 billion at the end of December 2012. The annualized return on average shareholders' equity in the first quarter was 22.6%. On an operating basis (excluding total net realized investment gains/losses in net earnings, and unrealized investment and derivative gains/losses in shareholders' equity), the annualized return on average shareholders' equity was 23.4% for the first quarter.

AFLAC JAPAN

Aflac Japan's total revenues in yen were up 9.7% in the first quarter of 2013. Premium income in yen rose 9.8%. Net investment income increased 7.3%. Investment income growth in yen terms was magnified by the weaker yen/dollar exchange rate because approximately 40% of Aflac Japan's first quarter investment income was dollar-denominated. The pretax operating profit margin increased slightly over the first quarter of 2012, improving from 21.3% to 21.5%. Pretax operating earnings in yen increased 10.7%.

For the first quarter, Aflac Japan's results in dollar terms were suppressed by the weaker yen/dollar exchange rate. The average yen/dollar exchange rate in the first quarter of 2013 was 92.59, or 14.0% weaker than the average rate of 79.59 in the first quarter of 2012.

Reflecting the weaker average yen in the first quarter, premium income in dollars decreased 5.9% to \$3.9 billion. Net investment income in the first quarter was \$674 million, or 7.6% lower than 2012. Total revenues decreased 5.9% to \$4.6 billion. Pretax operating earnings declined 4.8% to \$989 million.

In the first quarter, total new annualized premium sales rose 2.6% to ¥53.8 billion, or \$578 million. Third sector sales, cancer and medical products combined, decreased 7.1% in the quarter. During the same period, bank channel sales decreased 13.2%. Ordinary life sales, including WAYS which decreased 1.9%, were up 7.3% for the quarter. This result was better than expected and was primarily driven by consumers who wanted to make insurance purchases of first sector products ahead of the rate increase effective April 2, 2013.

AFLAC U.S.

Aflac U.S. total revenues increased 3.9% to \$1.4 billion in the first quarter. Premium income increased 4.0% to \$1.3 billion, and net investment income was up 3.4% to \$157 million. The pretax operating profit margin decreased slightly from 19.6% a year ago to 19.5%. Pretax operating earnings were \$281 million, an increase of 3.6% for the quarter.

Aflac U.S. total new annualized premium sales decreased 5.2% to \$332 million. Additionally, persistency in the quarter was 74.7%, which was unchanged from a year ago.

DIVIDEND

The board of directors declared the second quarter cash dividend. The second quarter dividend of \$.35 per share is payable on June 3, 2013, to shareholders of record at the close of business on May 22, 2013.

OUTLOOK

Commenting on the company's first quarter results, Chairman and Chief Executive Officer Daniel P. Amos stated: "Although the underlying strong results were masked by a significantly weaker yen, we are pleased with our overall results in the first quarter of 2013. Aflac Japan produced solid financial results that exceeded our expectations for the quarter. Aflac Japan's overall sales were up due to the advanced purchases of products prior to a scheduled premium increase. Third sector sales on the other hand, were down for the first quarter as expected. However, we believe consumer response to our third sector products will be strong in the second half of 2013. As such, we continue to expect that Aflac Japan's sales of third sector products will be flat to up 5% for the year.

"While Aflac U.S. sales declined in the quarter, we believe sales will be weighted more toward the latter half of the year. Therefore, we are retaining our objective of a flat to 5% sales increase for the year. The foundation of Aflac U.S. is strong and we are focused on expanding our reach to employees at companies of all sizes. We continue to look for opportunities to leverage our strong brand and relevant product portfolio in the evolving health care environment.

"Low investment yields, particularly in Japan, remain a significant challenge. As such, we continue to invest a significant portion of our cash flows in U.S. corporate bonds. This strategy provides greater liquidity, enhances flexibility for our portfolio and increases the opportunity to diversify the investment of our significant cash flows beyond Japanese Government Bonds, with the objective of producing higher returns. In light of 10-year JGB yields hitting historical lows, we want to be flexible in our asset allocation. Given significant changes impacting financial markets including Japanese interest rates and the yen/dollar exchange rate, our investment team is carefully monitoring Japan's monetary and fiscal policies to evaluate investment options related to our JGB asset allocation.

"The strength of our regulatory capital ratios demonstrates our commitment to maintaining financial strength on behalf of our policyholders and bondholders. As we have communicated over the past several years, sustaining strong RBC and SMR ratios remains a priority for us. While we have not yet completed our statutory financial statements for the first quarter, we estimate our quarterly RBC ratio at March 31 was above our 2012 year-end ratio of 630%. We believe Aflac Japan's SMR will also improve over its year-end 2012 level of 669%.

"We communicated last quarter our intention is to purchase \$400 to \$600 million of our shares this year. We purchased approximately \$150 million of our shares in the first quarter of 2013. Given the strength of our capital ratios and parent company liquidity, we are even more comfortable with that range.

"Reflecting the underlying strength of the business, we still expect to have another good year for Aflac. I want to reiterate that our objective for 2013 has not changed: To increase operating earnings per diluted share 4% to 7%, or approximately \$6.86 to \$7.06 per share, on a currency neutral basis. Assuming we achieve our earnings objective and the yen averages 95 to 100 to the dollar for 2013, we would expect to report operating earnings of \$5.99 to \$6.37 per diluted share for the full year. Additionally, for the second quarter of 2013, using the same currency assumptions, we expect operating earnings will be in the range of \$1.41 to \$1.56 per diluted share."

ABOUT AFLAC

When a policyholder gets sick or hurt, Aflac pays cash benefits fast. For nearly six decades, Aflac insurance policies have given policyholders the opportunity to focus on recovery, not financial stress. In the United States, Aflac is the number one provider of guaranteed-renewable insurance. In Japan, Aflac is the number one life insurance company in terms of individual policies in force. Aflac individual and group insurance products provide protection to more than 50 million people worldwide. For seven consecutive years, Aflac has been recognized by *Ethisphere* magazine as one of the World's Most Ethical Companies.

In 2013, FORTUNE magazine recognized Aflac as one of the 100 Best Companies to Work For in America for the 15th consecutive year. Also, in 2013, FORTUNE magazine included Aflac on its list of Most Admired Companies for the 12th time, ranking the company number one in the life and health insurance category. Aflac Incorporated is a Fortune 500 company listed on the New York Stock Exchange under the symbol AFL. To find out more about Aflac, visit aflac.com or espanol.aflac.com.

A copy of Aflac's Financial Analysts Briefing (FAB) supplement for the quarter can be found on the "Investors" page at aflac.com, as well as a complete listing of Aflac's investment holdings in the financial sector along with separate listings of the company's sovereign and financial investments in both perpetual and peripheral Eurozone securities.

Aflac Incorporated will webcast its quarterly conference call via the "Investors" page of aflac.com at 9:00 a.m. (EDT) on Thursday, April 25, 2013.

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED MARCH 31,	<u>2013</u>	<u>2012</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 6,208	\$ 6,240	(.5)%
Benefits and claims	3,521	3,646	(3.4)
Total acquisition and operating expenses	1,326	1,392	(4.8)
Earnings before income taxes	1,361	1,202	13.3
Income taxes	469	417	
Net earnings	\$ 892	\$ 785	13.7%
Net earnings per share – basic	\$ 1.91	\$ 1.68	13.7%
Net earnings per share – diluted	1.90	1.68	13.1
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	466,462	465,887	.1%
Diluted	469,124	468,533	.1
Dividends paid per share	\$.35	\$.33	6.1%

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED BALANCE SHEET
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AMOUNTS)

MARCH 31,	<u>2013</u>	<u>2012</u>	<u>% Change</u>
Assets:			
Total investments and cash	\$107,400	\$ 103,104	4.2 %
Deferred policy acquisition costs	9,210	9,542	(3.5)
Other assets	3,928	2,906	35.2
Total assets	\$120,538	\$ 115,552	4.3 %
Liabilities and shareholders' equity:			
Policy liabilities	\$ 92,951	\$ 92,697	.3 %
Notes payable	4,283	3,964	8.1
Other liabilities	7,769	5,248	48.0
Shareholders' equity	15,535	13,643	13.9
Total liabilities and shareholders' equity	\$120,538	\$ 115,552	4.3 %
Shares outstanding at end of period (000)	466,025	467,463	(.3)%

RECONCILIATION OF OPERATING EARNINGS TO NET EARNINGS
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED MARCH 31,	<u>2013</u>	<u>2012</u>	<u>% Change</u>
Operating earnings	\$ 790	\$ 814	(2.9)%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	42	(81)	
Hedge costs related to foreign currency investments	(3)	–	
Impact of other derivative/hedging activities	63	52	
Net earnings	\$ 892	\$ 785	13.7 %
Operating earnings per diluted share	\$ 1.69	\$ 1.74	(2.9)%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	.08	(.17)	
Hedge costs related to foreign currency investments	(.01)	–	
Impact of other derivative/hedging activities	.14	.11	
Net earnings per diluted share	\$ 1.90	\$ 1.68	13.1 %

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
(SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

THREE MONTHS ENDED MARCH 31, 2013	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes</u> ²
Premium income	(3.6)%	8.1%
Net investment income	(5.6)	1.7
Total benefits and expenses	(3.8)	7.6
Operating earnings	(2.9)	5.8
Operating earnings per diluted share	(2.9)	5.7

¹ The numbers in this table are presented on an operating basis, as previously described.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

2013 OPERATING EARNINGS PER SHARE SCENARIOS

<u>Average Exchange Rate</u>	<u>Annual Operating EPS</u>	<u>% Growth Over 2012</u>	<u>Yen Impact</u>
79.81*	\$ 6.86 - 7.06	3.9 - 7.0%	\$ -
85	6.60 - 6.80	0.0 - 3.0	(.26)
90	6.37 - 6.57	(3.5) - (.5)	(.49)
95	6.17 - 6.37	(6.5) - (3.5)	(.69)
100	5.99 - 6.19	(9.2) - (6.2)	(.87)

*Actual 2012 weighted-average exchange rate

FORWARD-LOOKING INFORMATION

The Private Securities Litigation Reform Act of 1995 provides a "safe harbor" to encourage companies to provide prospective information, so long as those informational statements are identified as forward-looking and are accompanied by meaningful cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those included in the forward-looking statements. We desire to take advantage of these provisions. This document contains cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those projected herein, and in any other statements made by company officials in communications with the financial community and contained in documents filed with the Securities and Exchange Commission (SEC).

Forward-looking statements are not based on historical information and relate to future operations, strategies, financial results or other developments. Furthermore, forward-looking information is subject to numerous assumptions, risks and uncertainties. In particular, statements containing words such as "expect," "anticipate," "believe," "goal," "objective," "may," "should," "estimate," "intends," "projects," "will," "assumes," "potential," "target" or similar words as well as specific projections of future results, generally qualify as forward-looking. Aflac undertakes no obligation to update such forward-looking statements. We caution readers that the following factors, in addition to other factors mentioned from time to time, could cause actual results to differ materially from those contemplated by the forward-looking statements: difficult conditions in global capital markets and the economy; governmental actions for the purpose of stabilizing the financial markets; defaults and credit downgrades of securities in our investment portfolio; impairment of financial institutions; credit and other risks associated with Aflac's investment in perpetual securities; differing judgments applied to investment valuations; significant valuation judgments in determination of amount of impairments taken on our investments; limited availability of acceptable yen-denominated investments; concentration of our investments in any particular single-issuer or sector; concentration of business in Japan; increased derivative activities; ongoing changes in our industry; exposure to significant financial and capital markets risk; fluctuations in foreign currency exchange rates; significant changes in investment yield rates; deviations in actual experience from pricing and reserving assumptions; subsidiaries' ability to pay dividends to Aflac Incorporated; changes in law or regulation by governmental authorities; ability to attract and retain qualified sales associates and employees; decreases in our financial strength or debt ratings; ability to continue to develop and implement improvements in information technology systems; interruption in telecommunications, information technology, and other operational systems, or a failure to maintain the security, confidentiality or privacy of sensitive data residing on such systems; changes in U.S. and/or Japanese accounting standards; failure to comply with restrictions on patient privacy and information security; level and outcome of litigation; ability to effectively manage key executive succession; catastrophic events including, but not necessarily limited to, epidemics, pandemics, tornadoes, hurricanes, earthquakes, tsunamis, acts of terrorism and damage incidental to such events; and failure of internal controls or corporate governance policies and procedures.

Analyst and investor contact – Robin Y. Wilkey, 706.596.3264 or 800.235.2667, FAX: 706.324.6330 or rwilkey@aflac.com

Media contact – Laura Kane, 706.596.3493, FAX: 706.320.2288, or lkane@aflac.com

###